

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

ミッション

日本文化の伝統を継承・発展させ世界文化に貢献。時代のニーズをとらえ、あらゆる世
代に豊かで多様なコンテンツを提供。



2 中長期の経営戦略

1. 映画製作・配給の強化

独自の製作力向上と自社企画・幹事作品の増加。ライブラリーの配
信・海外ライセンスビジネス展開で収益機会を拡大。

2. 映画興行の差別化

松竹マルチプレックスシアターズで経費削減と効率的運営。設備導
入でお客様に選ばれるシネコンを目指す。

3. 歌舞伎・演劇事業の充実

質の高い古典上演と新作創作継続。次代俳優の活躍の場を拡大。ス
トリートプレイ、ミュージカル等多様なジャンルに対応。

4. 不動産事業の最適化

既存テナント関係構築と新規誘致で賃貸収益確保。東銀座のブラン
ド価値向上とエリアマネジメント活動に注力。



3 対処すべき課題

① 経営環境の不透明性

- ・劇場用映画・演劇は予想と実績の乖離が大きく、特定の経営指標による目標設定が困難
- ・アメリカの関税政策や物価上振れによる世界経済への景気下振れリスク

② 変化するお客様ニーズへの対応

- ・変化するお客様の嗜好を取り込みながら質の高いコンテンツを継続的に製作
- ・あらゆる世代のお客様に心の支えとなる映像・演劇コンテンツを提供

③ 収益基盤の強化

- ・安定した収益基盤の着実な強化を第一に認識
- ・不動産事業での資産の効率的な運用
- ・東銀座のブランド価値向上と地域活性化

面接で使えるポイント

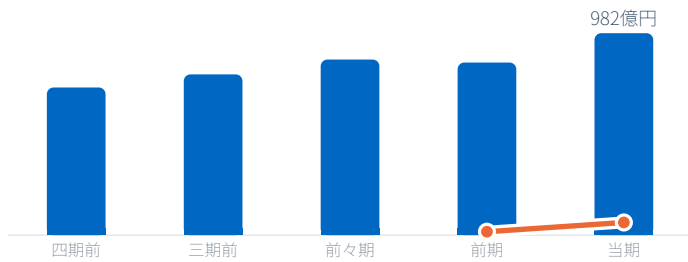
- ・日本文化の伝統を継承・発展させながら、時代のニーズに応じた多様なコンテンツを提供する松竹の経営姿勢
- ・劇場用映画・演劇という予想と実績の乖離が大きい事業領域で、安定した収益基盤を強化する工夫
- ・松竹マルチプレックスシアターズやシネマ歌舞伎など、ライブラリー活用とコンテンツの水平展開による新たな収益機会の創
出

松竹株式会社

情報・通信業 | プライム（内国株式） | 決算期 2月末日 ...

証券コード 9601

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
982億円

営業利益率
6.3%

財務健康度
18点 / 100点

将来性 雨 / 就活偏差値 55.9（当サイト算出の参考指標）

平均年収
830万円

情報・通信業内 83位/592社

平均年齢
42.3歳

情報・通信業内 104位/593社

平均勤続
14.6年

情報・通信業内 41位/593社

女性管理職
28.1%

情報・通信業内 61位/373社

男性育休
60.0%

情報・通信業内 241位/297社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: <松竹歌舞伎屋本舗 東京本店 15周年特別企画> 【かぶきにゃ

松竹株式会社 企業研究シート

出典: 企業スコープ (kigyo-scope.jp) / 金融庁EDINET 有価証券報告書

将来性・就活偏差値・財務健康度は当サイト算出の参考指標です。

投資・就職の判断は必ず一次情報をご確認ください。 作成日 2026-08-05

